

自律的移動支援プロジェクトのイメージ

様々な移動制約の存在(その1)

出発前 : 事前の移動のしかたの検討



目的地までのバリアフリールートや鉄道・バスなどの運行情報
.....様々な資料をつきあわせる必要がある

移動途中 : 急な運行の変更への対応



突然の道路工事で段差ができて通れない



突然のダイヤの乱れで、到着時間が予測できない
普段使わない駅だと乗換えが分からない



電車が不通
.....適切な情報が得られずどうやって乗り換えるかがわからない

様々な移動制約の存在(その2)

目的地付近



新幹線から降りた途端、外国語の移動情報がない



子供の視線から街のサインが見えない
.....お使いの途中どこで曲がるかわからなくなる



点字ブロックに沿ってきたが、肝心の目的地がわからない

自律的移動支援のイメージ(その1)

IT技術やピクトの活用で移動制約を軽減できる。

出発前...目的地までの事前情報



道路から鉄道、バスまでシームレスな情報が
入手できる
リアルタイムのバリアフリー情報が分かる
.....急な道路工事の情報も手に入る
エレベーターの設置箇所など目的地の状況を
あらかじめ確認できる

移動途中...緊急時



急な振替輸送の情報も携帯端末を通じて、情報入手

自律的移動支援のイメージ(その2)

目的地付近



駅の情報センターへ行けば、乗り換え情報を多言語で携帯端末を介して入手できる
情報センターは世界共通のピクトで案内



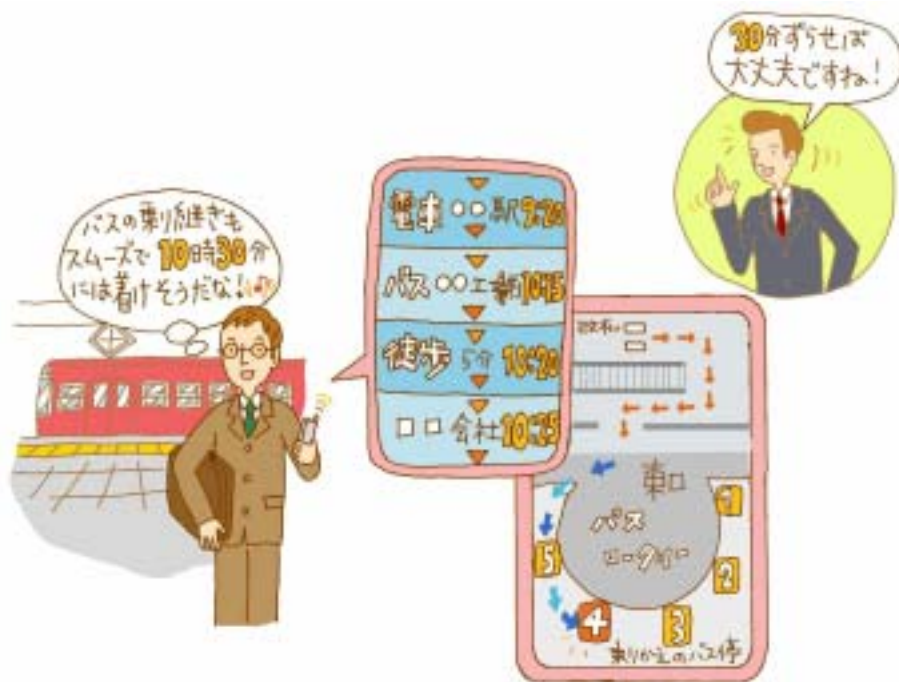
大事な曲がり角では携帯端末が知らせてくれる
お母さんは、無事に目的地に着いたことを携帯端
末で知ることができる



目的地の正確な場所や入口を音声や振動で案内

自律的移動支援のイメージ(その3)

ユニバーサルなシステムにより、低価格で持続的なサービスが期待できる



ダイヤが乱れても、乗り継ぎや到着時間を的確に知ることができる
普段使わない駅でもスムーズに乗り換えられる



旅行先で沿道建物からの情報提供を活用し、全ての人の観光旅行が快適に

自律的移動支援のイメージ(その4)

すべての人が支え合う快適な移動が実現



お店側から点字メニューなどの情報を簡単に提供できる



テレビ電話の活用で、離れた人が買い物を支援